

YouTube チャンネルの QRコードはコチラです⇒ Since 2019.8.30



社労士事務所HIKARIが、中小企業の顧問先から日々ご相談される素朴な内容を、
(1) わかりやすく、(2) 具体的に説明していく目的でオープンしました

【中小企業の働き方改革を応援するチャンネル】です。

求人、採用面接、残業、社会保険、給料、労災など、中小企業を取り巻く様々な
労務問題プラス助成金を取り上げていきますので、よろしくお願ひいたします。



今月のお勧め動画は！

モデル就業規則の改定 です！

【裏面】の年間ランキングも見てね!!!

今月のお勧め動画

今月のお勧め動画は

「 モデル就業規則の改定 」です。



厚生労働省はモデル就業規則を公表して
おります。その時点の労働政策に応じて
改定が頻繁に行われており 2020 年
(令和2年) 11月改定では
5項目の改定が行われました。
2本の動画に分けて解説しております。

また、今号は12月号なので、「2020年の動画ランキング!」を裏面で特集しております。

1年間、数多くご視聴頂き、ありがとうございます。

★チャンネル登録よろしくお願いします!★

チャンネル登録とは? いわばSNSでいう「いいね!」みたいな意味です。

Twitterでいえば「フォロー」、ブログなんかでは「読者登録」にあたります。

どうしてチャンネル登録を勧めるの?

世界中の何億の人々が利用しているYouTubeの中から、HIKARIチャンネルの動画を探すという
面倒な手間を省き、不定期更新のHIKARIチャンネルの動画を見るためにお勧めするものです。

チャンネル登録は
無料
です!!

YouTubeのチャンネル登録はGoogleアカウントにログインすると簡単に出来ます!!

【再生回数ランキング】 *数字は 2020.12.21 現在

1位		<p>【HIKARI チャンネル 039】再生回数 41,739 回 公開日 2020.3.7</p> <p>新型コロナの影響は、想像以上に深刻になると予想して、助成金動画は作成しないとの方針を破って、雇用調整助成金を解説した3本目の動画です。この動画の制作当時は、雇調金は複雑で分かり難く、いくら支給されるのかもよく分からない助成金のため、超特急で制作したことを思い出します。同時に、この情報が世の中で如何に求められているのか、を視聴回数とコメント数から痛感した、思い出の動画です。</p>
2位		<p>【HIKARI チャンネル 046】再生回数 16,527 回 公開日 2020.4.5</p> <p>雇調金の5本目、新型コロナ関係で創設、改定された内容を含めると9本目の動画です。この動画の制作当時は、緊急事態宣言直前で、新型コロナの関係の施策が矢継ぎ早に出されるため、動画のリリース間隔も短めです。兎に角、正確な情報をいち早くお届けすることだけを念頭に制作しました。30分を超える動画にもかかわらず、視聴者維持率が30%を超えているのも、当時は雇調金の情報がいかに不足していたのかが、思い出されます。</p>
3位		<p>【HIKARI チャンネル 053】再生回数 14,814 回 公開日 2020.5.3</p> <p>雇調金 12 本目の動画です。この当時は、手続き&書類の簡素化等の特例措置の発表待ち状態で、多くの方が情報に飢えていた時期だったと思います。というのは、この動画は公開日の視聴回数が 5,000 回超だったからです。この頃になると、同業の社労士さんと、雇調金の解説を YouTube にアップされる方も増えてきました。そこで、この動画以降は、特例措置を速報する動画は減らして、解説内容を充実する方向に切り替えて、現在に至っております。</p>

【視聴者維持率ランキング】 *数字は 2020.12.21 現在

1位		<p>【HIKARI チャンネル 008】視聴者維持率 50.49% 公開日 2019.9.29</p> <p>視聴者維持率とは、YouTube が動画の質を判断する重要な指標だと言われております。36 協定シリーズは全 6 本を 2019 年に公開したのですが、公開した年は、ほとんど視聴回数は伸びず、2020 年後半に入ってから視聴回数が伸びてきたという珍しい動画になります。10 分超の動画にもかかわらず、視聴者維持率（平均再生率）が 5 割前後と高い視聴者維持率なのも特徴です。この当時の動画は画質を含めて決してクオリティは高くないのですが…不思議です。</p>
2位		<p>【HIKARI チャンネル 007】視聴者維持率 49.49% 公開日 2019.9.26</p> <p>視聴者維持率の第2位は 36 協定シリーズの 1 本目の動画になります。動画No. が 007 と、YouTube 動画を投稿しだしたばかりの頃なので、今見ると懐かしさがありつつ、赤面ものなのですが…（今、制作している動画も、来年見ると同じ感想を持つと思いますが ww）この動画も公開した年には、36 協定の上限規制の施行前だったのでほとんど視聴されず、今年の方が数倍視聴されております。タイミングが重要なことも YouTube から学びました。</p>
3位		<p>【HIKARI チャンネル 077】視聴者維持率 48.91% 公開日 2020.9.21</p> <p>視聴者維持率の3位には、今年制作した動画が、やっとランクインしました。テーマも最低賃金とあまり取り上げない内容なのが、かえって視聴される方に新鮮だったのかも知れません。雇調金をはじめとする助成金関係の動画は、2020 年 6 月以降ほとんど制作していない関係で、視聴回数は落ち着いておりますが、皆様にじっくりと視聴頂ける動画作りを念頭において、今後とも精進してまいります。</p>

編集後記

新型コロナに始まり、新型コロナに終わった感のある 2020 年。来年、2021 年は平穏を祈ります。引き続き、YouTube 動画での情報発信を努めて参りますので、よろしくお願いたします。(K)